

## 指定管理者管理運営状況評価

評価対象施設	埼玉県障害者交流センター
指定管理者	埼玉県社会福祉事業団
評価対象年度	平成30年度
施設所管課	福祉部 社会福祉課

評価項目	細項目	評価	コメント
利用者の 安心・安全、 平等利用の 確保	安全性の確保	A	・危機管理委員会等を設け、施設内安全点検を月2回、安全衛生点検を随時実施している。 ・ヒヤリハット報告等を活用し、事故防止に積極的に取り組んでいる。
	法令等の遵守	A	・法定点検業務は適切に行われている。 ・「埼玉県社会福祉事業団個人情報保護規程」及び法人本部からの通知に基づき個人情報の保護を適切に行っており、流出等はない。 ・「埼玉県社会福祉事業団情報公開実施規程」に基づき適切な事務が行われている。
	平等利用の確保	A	・「埼玉県障害者交流センター条例」及び「埼玉県障害者交流センター管理規則」並びに「埼玉県障害者交流センター管理運営要領」により利用に関する許可の基準を規定している。平成30年度に利用許可の制限及び不利益処分等の事例はない。
施設の設置 目的の達成	事業の実施	B	・「指定管理業務に係る事業計画書」等に沿って、適切に事業が実施されている。特に、創作活動の出張支援については、実績が5市8回と目標値(2市町村・8回)を上回り、地域の文化活動支援に貢献しているといえる。しかし、重点目標であるスポーツ指導員の派遣については、実績が14市・60回に留まり目標値(15市町村・67回)を達成できなかったためB評価とした。
	利用状況	A	・「公の施設の管理目標」では、施設利用延べ人数228,000人の目標に対して、実績は228,234人となり目標を達成した。
	適切な管理の 履行	A	・協定書や事業計画に沿った管理が適切に実施されている。 ・指定管理者の管理の瑕疵による重大な事故や不正支出及び支払の遅延等はない。
	財産の適切な 管理	A	・建物や設備の修繕は適宜実施している。 ・備品の購入や処分に関しても、適切に事前協議を行っている。
利用者サービス の向上	サービス内容の向上	A	・サービス自己評価によるサービスの点検を実施し、サービス内容の向上に努めている。
	利用者の満足度	A	・利用者サービスについて、利用者満足度調査を実施しており、おおむね利用者の満足は得られている。(総合評価で管理目標である4以上を達成している。(5段階評価)) ・苦情・要望については、その都度施設長や職員が対応・回答している。
財務	適正な支出の確保	A	・「埼玉県社会福祉事業団会計規程」に基づき、適切に支出されている。
	コスト低減	A	・職員アイデアを募集・実施し、業務改善及び効率化を図っている。
総合評価		A	適切に実施されている。

特記事項	特に評価すべき点	・障害者の社会活動を促進するため、各種文化・スポーツ教室等の開催及び障害者スポーツ指導員やボランティア養成講座を実施している。また、地域支援事業として、県内各地で創作活動の出張支援を行い、地域の文化活動に貢献している。
	次年度に向けて 改善が望まれる点	・利用者の方々が安心・安全なサービスを享受できるよう、引き続き適正な施設の維持管理と事業の運営及び事件・事故防止に努めること。 ・県内唯一の身体障害者福祉センターA型施設として、地域支援事業は重要な取組であるため、障害者が利用しやすいような内容・仕組みの検討や広報等、引き続き利用促進に努めること。